学校番号	３１６

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　社会と情報　新訂版（実教出版）						
副教材等	基礎からはじめる　情報リテラシー　（実教出版） ビジネス文書実務検定模擬試験問題集　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文書作成に必要な技術であるワープロソフトウェア使用のスキルを高め、効果的な文書作成方法を理解するとともに、ビジネスの諸活動において情報を効果的に発信できる能力を養うように努めること。実技科目であるということを意識し、日々の授業の積み重ねを大切にして下さい。実技成果物や提出物、学習状況を重視します。

2　学習の到達目標

・実習を主とし、個人のペースに合わせ、より自主的に能力を高めていけるよう配慮する。
・コンピュータの操作スキルの向上のみに偏ることなく、一般的な文書、特にビジネス文書について広く学べるよう配慮する。
・情報についての基本的な知識とその正しい利用法について理解するよう努める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントチェック	・学習状況の観察 ・プリントチェック	・学習状況の観察 ・実習成果物 ・小テスト	・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報を活用しよう	■情報社会に関心を持ち、自らの情報活用能力を高めようとする態度を養おう	○				a:情報社会に関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている b:情報社会における利点や問題点について考えることができる c:コンピュータを活用し、情報を編集、発信することができる d:情報社会での仕組みを理解している	・学習状況の観察 ・プリントチェック
		■コンピュータを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを理解しよう		○		○		・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト
	情報モラルを身につけよう	■スマートフォンなどを利用する上で必要なルールやマナー、注意点を理解しよう	○			○		・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト
		■情報を発信するときに必要な送り手としての責任を理解し、他人を傷つけないようにしよう		○		○		・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト
	コンピュータを使ってみよう	■情報機器の特徴とはたらきについて理解しよう		○		○		・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト
		■情報機器の基本操作を理解しよう	○		○			・学習状況の観察 ・プリントチェック ・実習成果物 ・小テスト
2学期	コミュニケーションとネットワーク	■技術の進歩によるメディアの発達の歴史について知り、メリットとデメリットを理解しよう		○		○	a:インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持っている b:技術の進歩によるメリと・デメリットの両側面を考えることができる	・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト
		■情報通信ネットワークの特性を理解し、目的に適したコミュニケーションツールを適切に利用できるようになろう	○		○			・学習状況の観察 ・プリントチェック ・小テスト

	文書を作成してみよう	■文書などを作成する際に配慮しなければならないことを理解しよう		○		○	c:コンピュータを活用し、情報を編集したり、文字や表を用いて効果的な文書作成をすることができる d:情報ネットワークでのデータ圧縮に関する知識がある	・プリントチェック ・小テスト
		■文書処理ソフトウェアを使った文書作成の方法を習得しよう	○		○			・プリントチェック ・実習成果物 ・小テスト
3学期	表計算ソフトの利用	■表計算ソフトのデータ入力・関数の扱い方を習得しよう	○		○	○	a:問題解決のための計画や情報収集を積極的に行なっている b:課題に応じて利用するグラフや条件に合わせた関数を選択できる c:検索エンジンを利用して必要な情報を収集できる d:表計算ソフトの機能についての知識がある	・プリントチェック ・実習成果物 ・小テスト
		■目的に応じて数値の変化や割合などをわかりやすいグラフに表現しよう	○	○		○		・プリントチェック ・実習成果物 ・小テスト
	問題解決	■問題解決の手順と解決への道筋を考えよう		○	○			・プリントチェック ・小テスト
		■問題解決するための情報収集・整理・分析方法を理解しよう	○	○		○		・プリントチェック ・実習成果物 ・小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。